

# 姫路大学附属健康・教育実践研究センター便り（創刊号）

〒671-0101 姫路市大塩町 2042 番 2 / 電話：079-247-7301 / 大学HP <http://himeji.koutoku.ac.jp/>

## 姫路大学附属健康・教育実践研究センター 開所にあたって

センター長 郷間英世

大学の使命の一つとして、社会や地域への支援や貢献があります。これは、研究機関である大学が、社会や地域の人々が求めている事柄について、支援や研究を行うことにより、人々の生活の質（QOL）を向上させることです。このことは、社会的存在である大学にとって、これからますます重要な課題となってくることと思われま



### プログラム室

本研究センターの目的は「子どもから高齢者の健康と発達の向上にむけた研究及び支援方法の開発を行い、相談活動や健康教室、講座等を通して地域社会に貢献すること」としています。看護学部と教育学部の教員や学生がそれぞれの特徴を生かしながら、子どもの発達支援や成人高齢者の健康の維持促進、また成人病、精神疾患や障害等のある人々のQOLの向上を目指した支援と研究を行っていきたいと考えております。



### 相談室

さて、姫路大学は、平成19年に近大姫路大学として看護学部看護学科、翌年には教育学部こども未来学科、同通信教育課程を開設し、12年余りが経過しました。

現在の通学過程は看護学部と教育学部の2つだけの小さな大学ですが、この間多くの卒業生を輩出してきました。また、平成29年度には看護学部大学院看護学研究科博士前期課程、平成31年4月には同博士後期課程を開設し、成人高齢者看護学分野及び障害児・者支援学分野を設け、高度の研究機関としての新たな歩みが始まりました。

この経過のなかで、大学の社会や地域支援・地域貢献の役割はますます大きくなってきており、令和元年11月に、この「姫路大学附属健康・教育実践研究センター」を設立する運びとなりました。



### ミーティング室

研究センターの組織は、子ども発達支援部門、地域生活支援部門、障害児・者支援部門、シニア支援部門の4つに分けています。子ども発達支援部門では子育て相談や親子教室などの活動を、地域生活支援部門では「まちの保健室」の設置による地域生活相

談や健康の維持増進プログラムを、障害児・者支援部門では発達や障害の相談・家族相談・発達支援活動を、シニア支援部門では地域で生活している高齢者の生活の充実を目指したプログラムを実践していきたいと考えています。



スヌーズレン室

また、発達支援や健康増進プログラムの開発研究、学内及び学外組織との共同事業、公開講座などの啓発活動などを行っていく予定です。

研究センターには、写真で示しましたような相談室、ミーティング室、講座やヨガ教室などができるプログラム室、和室やリラクゼーションのためのスヌーズレン室などを備えています。実施していく内容は、プログラムを行いながら、より地域の人々のニーズに合ったものをつくっていければと考えています。また、この施設を多くの地域の人々にも利用していただき、皆さまとともに歩んでいけるようなセンターを目指したいと考えています。実施内容は、ホームページや研究センター便りでもお知らせしていきたいと考えていますので、ご希望ご意見がありましたら、どしどしお寄せください。よろしくお願いたします。

## 研究センターに対する地域の人々の希望 —アンケートに協力して—

研究センター準備委員会

本研究センターでは、看護学研究科（大学院）、看護学部と教育学部が、特徴を生かしながら、子どもから高齢者までの発達の支援や健康の維持促進、また慢性疾患や障害児・者のQOLの向上を目指した研究及び支援を行うことを目的としています。

実施プログラムの内容は、子育てや発達の相談活動、健康教室、公開講座や地域の人々の活動の場の提供などを考えていますが、具体的な内容は検討課題となっています。そこで設立に先立ち、地域の人々のQOLの向上を目指した支援や連携について、地域の人々の協力をいただいて、どのような希望があるのかを調査しましたので結果をご紹介します。

図1に、子ども園に通う幼児の保護者の希望を示しました。「発育や発達に関すること」や「食事や栄養に関すること」について知りたいという希望が多いという結果でした。そのほかに、「発達障害について」、「兄弟げんかの対応」、「偏食」、「ゲームの時間について」、「子どもへの注意や干渉の仕方」、「同じ目的の人と繋がりたい」などの希望がありました。

図1. 園に通う幼児の保護者の希望する講座や活動

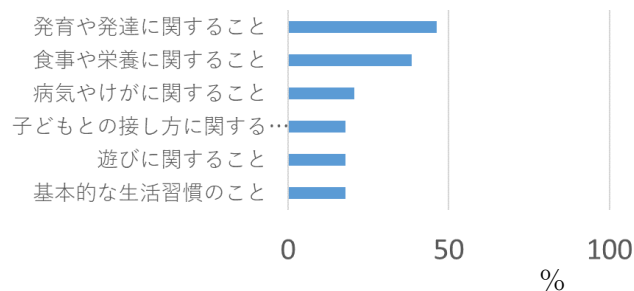


図2. 親子遊び参加児の保護者の希望する相談

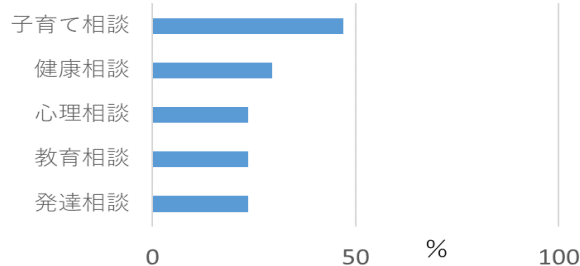


図3. 親子遊び参加児の保護者の希望する講座

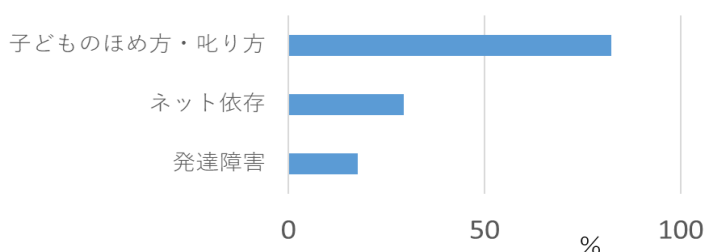
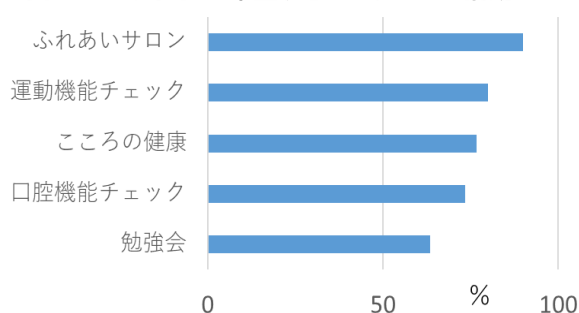


図2、図3に、姫路大学で行っている「親子遊び」に参加している1歳から9歳までの幼児から学齢児の子どもの保護者に、希望する相談や講座について質問しました。相談したい内容は「子育て」についてが多く、講座は「子どものほめ方・叱り方」を希望した人が80%近くありました。また、参加している「親子遊び」については、100%の方が今後も参加を希望していました。

そのほかに、「遊ぶ場所の開放」、「親子クッキング」、「野菜作り」などの希望がありました。

図4. シニア世代の希望するセンターでの活動



シニア世代の希望は、地域の老人クラブの方々にお願しました。結果を図4に示しましたが、「ふれあいサロン」、「運動や口腔機能のチェック」、「心の健康」などいずれも半数以上が希望しました。そのほかに「グループで勉強会をしたい」、「学生さんと一緒に活動したい」、「大学のプログラムに参加したい」、「一般の人もバスの利用を希望する」などがありました。

図5. 障害児の保護者の希望する活動

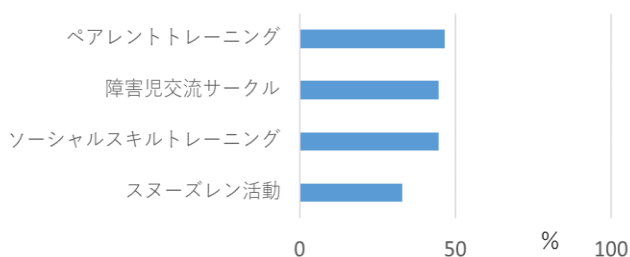
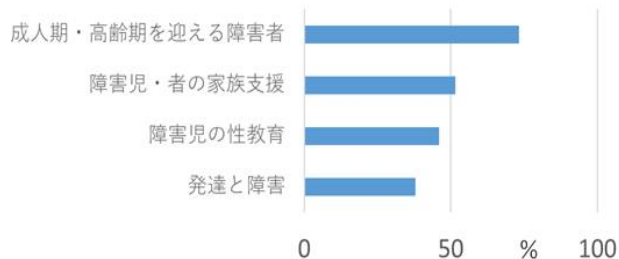


図6. 障害児の保護者の希望する講座・講演



近隣の支援学校に通う障害児の保護者にアンケートの協力を依頼した結果を図5、図6に示しました。

希望する講座や講演では、「成人期・高齢期を迎える障害児について」、「障害児の家族支援」、「障害児の性教育」が多い内容でした。希望する活動では「ペアレントトレーニング (PT)」、「障害児交流サークル」、「ソーシャルスキルトレーニング (SST)」が多く、本研究センターにも設置しているリラクゼーションのための「スヌーズレン活動」の希望もありました。

地域の皆さま、アンケートにご協力いただきありがとうございました。以上のように、地域の方々からたくさんの希望やご要望をいただきました。ご期待に十分お応えできないこともあるかもしれませんが、これらの内容について検討しながら、可能なものは今後のセンターのプログラムに生かしてしていきたいと思っています。

研究センターは、正面から入って一番奥の建物です



現在、予定しているプログラムを以下にご紹介します。公開講座や健康教室など、これから順次増やしていく予定です。

### 親子遊び

姫路大学教育学部教員と学生を中心に、地域の3歳から小学校3年生までの親子の皆さんを対象とした運動遊び中心のプログラムを実施しています。子どもたちが体を動かし、交流し、さらに親子が触れ合う機会になれば幸いです。時間は、毎月1回10時から12時で、今年度は11月30日、1月11日、2月8日、3月14日を予定しています。



参加費用は無料です。実施日程をご確認いただき、姫路大学体育館にお越しください。お車でお越しの際は、大学駐車場をご利用ください。多くの方々の参加をお待ちしています。

## 笑いヨガ講座

「笑いヨガ」は誰にでもできる健康体操です。ストレスと上手に付き合い、生き生きと自分らしく生きることに効果があるとされています。講師は笑いヨガティーチャーで姫路大学特任教授の小林廣美先生です。シニアの方、身軽な服装で是非ご参加ください。

第1回は12月12日の10時30分から11時30分を予定しています。今後、月1回のペースで行なっていく予定です。場所は研究センタープログラム室で行います。

## わらべうたの会

令和2年2月末ごろから、「わらべうたの会」を行います。子どもさんでもシニアの方でもどなたでもおいでください。年数回行う予定です。

講師は木村ちひろ先生です。詳細は、姫路大学ホームページなどでお知らせいたします。

## まちの保健室の開催

兵庫県看護協会と協同しての「まちの保健室」を開設予定です。健康相談、子育て相談、介護相談にプラスして、健康に役立つ情報提供や、様々な機器を用いた健康チェックを行う予定です。学校の保健室のように地域の皆さまが気軽に相談できる場になるよう考え中ですので、お楽しみに！

## 障害児・者サロン

重症心身障害児・者やそのご家族の方を集っていただいて、ゆったり話し合いをしたり、センターの中のスヌーズレン室を利用していただきます。少しでも生活の幅が広がったり仲間が増えればと考えています。令和2年2月ごろから始めたいと考えています。

## 相談活動

センターでは、子育て、地域生活、障害（発達障害や重症心身障害）、シニアの健康などの相談について専門家が対応いたします。相談の方法は、下記の電話番号にお電話をかけていただき、健康・教育実践センターへのご相談であることをお伝えください。

電話番号：079-247-7301（代表）

受付時間：10：00－12：00 14：00－16：00

受付日：月曜日から金曜日（祝日は除く）

職員がお名前、ご連絡先、ご相談内容等をお尋ねいたしますので、お伝えください。

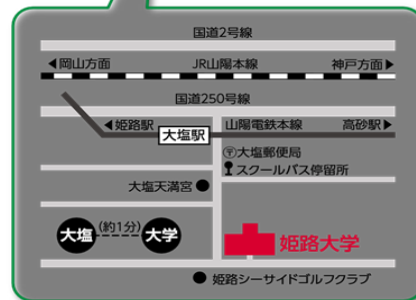
1～2週間以内にご相談内容に応じる担当者から電話でご連絡いたします。

## アクセス

山陽電鉄「大塩」駅から

- スクールバスで約1分
- 徒歩で約10分

※スクールバスの発車時刻はHPをご参照ください。



## 編集後記

開所にあたり、実践研究センターだより創刊号を発刊することができました。11月25日の開所式には、清元秀泰姫路市長の記念講演をはじめ、多数のご来賓の方々や、地域の皆さまのご出席をいただきますこと、厚く御礼申し上げます。今後、本研究センターを地域の皆さまと一緒に発展させていきたいと思っています。よろしく願い申し上げます。

センター長 郷間英世